

# キラキラ WEB 教室@home

肢体不自由等のある幼児とその保護者を対象とした教室です。

## 第13回 「災害の備えと緊急時の対応」

災害の備えとして「普段からの備え」「避難時の持ち物」「災害が起きたら」の視点でまとめてみました。  
お子様の状況に応じた「備え」を考えておきましょう。

### 「普段からの備え」

～自宅のできるもの～

- 家具は固定し、ガラスには飛散防止フィルムを貼る
- 特に寝る場所は、家具など倒れてくる物がないようにしておく
- 車いすを使用している場合は、通れる幅を十分に確保しておく
- 車いすや歩行補助具は、被害を受けにくい場所に置き、暗闇でも分かるように発光シールなどを貼っておく
- 車いすの空気圧、バッテリーの充電などは、常にチェックしておく

～避難のために備えておくこと～

- 無理のない範囲で、周囲の人に障がいがあることを知っておいてもらう
- 自宅周辺の避難経路や避難場所を確認しておく
- 避難経路は複数考え、避難のシミュレーションをしておく（ブロック塀や木などが倒れ、道路が通れなくなることがあるため）
- 避難に支援が必要な場合は、自治体が作成する「避難行動要支援者名簿」に登録する
- バリアフリーなどの問題で避難所が使えそうにない場合は、あらかじめ自治体へ相談しておく
- 支援を受ける際に配慮してほしいことを書いた「ヘルプカード」を作成しておく

### 「避難時の持ち物」

- 車いす、杖、歩行器など
- バッテリーや充電器（予備も）
- 床ずれ対策ができるもの
- 紙おむつ、携帯トイレなど自分に合った排泄処理用具
- 笛や大きな音の出るブザーなど（助けを呼ぶためのもの）
- お薬手帳や各種手帳

### 「災害が起きたら」

- 動ける場合は、座る、這う、何かにつかまるなど、安全な姿勢をとる
- 避難する場合は、補助具や非常用持出し袋を準備し、周囲の人へ支援を頼む
- 動けない場合は、大声や笛、ブザーなどで助けを求める

「花の冠」(大越桂・作詞/松浦真沙・作曲)

嬉しいなという度に 私の言葉は花になる だからあったらいいなの種をまこう  
小さな小さな種だって 君と一緒に育てれば 大きな大きな花になる  
楽しいなという度に 私の言葉は花になる だからあったらいいなの種をまこう  
小さな小さな種だって 君と一緒に育てれば やさしい香りの花になる  
花をつなげたかんむりを あなたにそっとのせましょう 今は泣いてるあなたでも 笑顔の花になるように

この詩は、「誰でも、どんな境遇の下にいても、希望をもち、希望を与えることができる・・・『希望の種』をまきましよう。そして、被災地に生まれる小さな『希望の芽』をみんなで大きく育てましよう」と呼びかけています。

私たちは、2011年3月11日に三陸沖を震源地とする東日本大震災を経験しました。その時の経験を貴重な学びとしていけるように、日頃からの備えや緊急時の対応の仕方など事前に確認しておくことが大事であると考えられます。



相談専用携帯 080-7307-7175

第13回担当：郡山支援学校 防災委員会

(令和4年 10月掲載)

こちらからバックナンバーもご覧いただけます

